

川崎市×渋谷区×慶應義塾大学×専修大学×青山学院大学×Delft University of Technology(デルフト工科大学)×ピープルデザイン研究所

## 「認知症の人の社会共生と課題解決のための学生による 国際交流・共同研究プロジェクト」の成果発表を行います

本年4月よりスタートした、今後も増加が見込まれる認知症の人が、地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりのための「認知症の人の社会共生と課題解決のための学生による国際交流・共同研究プロジェクト」の成果発表を行います。

オランダよりデルフト工科大学の学生も来日し、各大学の学生による課題解決型サービスやプロダクトアイデアの発表を行います。

本プロジェクトの特徴！

### 若者×認知症 = ??

社会問題化する認知症という課題に対して、若者ならではの自由な発想と知見で、課題解決のための検討！

### 大学×企業×NPO×自治体！

川崎市と渋谷区をフィールドとして、4つの大学や様々な企業やNPOが、それぞれの立場から認知症に対し取り組む！

## 成果発表会概要

<日 時> 平成28年11月8日(火) 16:00～18:00

<場 所> 渋谷ヒカリエ8階「8/(ハチ)」(〒150-8510 東京都渋谷区渋谷2-21-1)

「超福祉の日常を体験しよう展(超福祉展)」メイン会場にて



2016年11月8日(火)～11月14日(月)

11:00 - 20:00 (最終日のみ 16:00)

主催：ピープルデザイン研究所、共催：渋谷区等、後援：川崎市、文部科学省等

<内 容> 各大学の学生による認知症の人の社会共生と課題解決のためのサービス、  
プロダクトアイデアについて発表、トークセッション

### <発表者> 各大学の学生

【プロジェクト学生メンバー】

- 慶應義塾大学博士課程リーディングプログラム「超成熟社会発展のサイエンス」研究員(非常勤)(大学院生6名)
- 専修大学生ネットワーク情報学部(大学生21名)
- 青山学院大学教育人間学部、法学部(大学生30名)
- デルフト工科大学(大学院生4名)

### <参加者(予定)>

- ・川崎市 福田紀彦市長
- ・渋谷区 長谷部健区長
- ・デルフト工科大学工学部工業デザイン学科教授 リチャード・グーセンス工学博士
- ・NPO 法人ピープルデザイン研究所 須藤シンジ代表理事(司会進行)

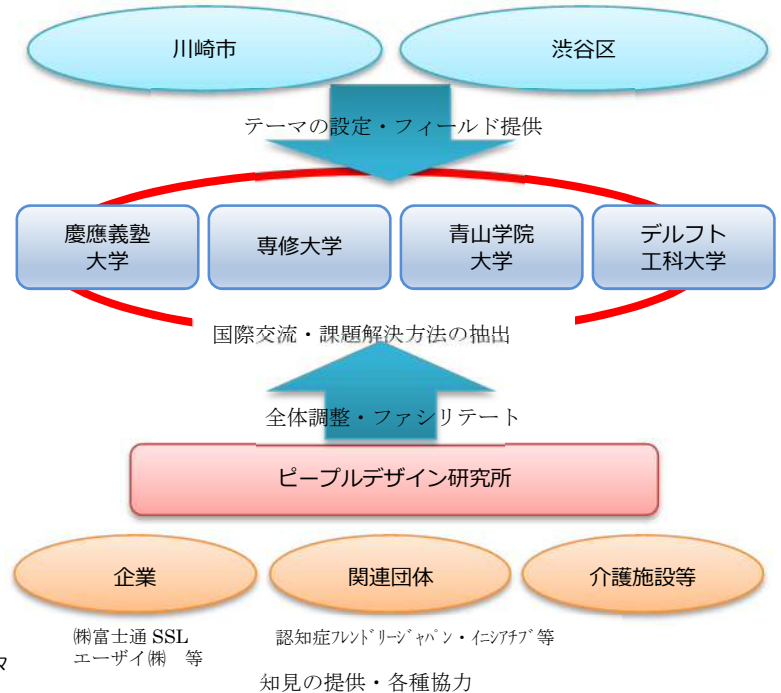
## プロジェクト概要

日本の3大学（慶應義塾大学・専修大学・青山学院大学）とオランダのTU Delft デルフト工科大学の学生が、川崎市と渋谷区が提示した行政課題・テーマに基づき、地域の状況把握やリサーチを行い、それぞれ認知症の人の課題解決方法の検討を進め、また、定期的にskype等を活用した国際ミーティングを行い、課題解決型サービスやプロダクト（製品企画）の提案を行います。

その成果は、日本とオランダ両国で発表していきます。

### プロジェクトの研究テーマ

- ・徘徊（徘徊を防ぐには、早期に見見・保護するには）
- ・家族支援（家族の心理的・身体的負担を軽くするには）
- ・仕事（本人・家族が働くには、介護離職を防ぐには）、
- ・地域ネットワークの形成（行政・住民・ボランティア・民間企業）等々



## スケジュール

### 4月～5月 学生へのインプット

各大学にて認知症について多彩な講師陣にて様々な角度から情報提供  
 （講師：㈱富士通SSL、エーザイ㈱、DFJI、認知症当事者 等々）

### 6月～8月 学生によるフィールドワーク・リサーチ

各チームごとにグループホーム、認知症関連野の市民活動団体、家族会など地域へのヒアリングやリサーチ、合宿等の実施

### 8月～10月 課題の抽出、中間発表

ヒアリングやリサーチを受けての課題抽出、アイデアの取りまとめ、イベント実施等の実証

ディスカッションの様子



介護施設への訪問



## 11月8日（火）日本での成果発表

### 《成果提案例》

- ・介護支援専門員の活躍をサポートする樹形図式ケアプラン作成システムの構築 ・家族とつながる本・メモツール
- ・若年性認知症における就労環境改善 ・大学生による交流イベント ・ウェアラブルデバイスの提案 等々

平成29年2月19日（日）～23日（木）オランダデルフト市にて成果発表

平成29年度 デザインコンセプト案を各地域で導入可能性の検討・実証

<お問合せ先>

■川崎市市民文化局協働・連携推進課

電話：044-200-2017

■川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室

電話：044-200-3797